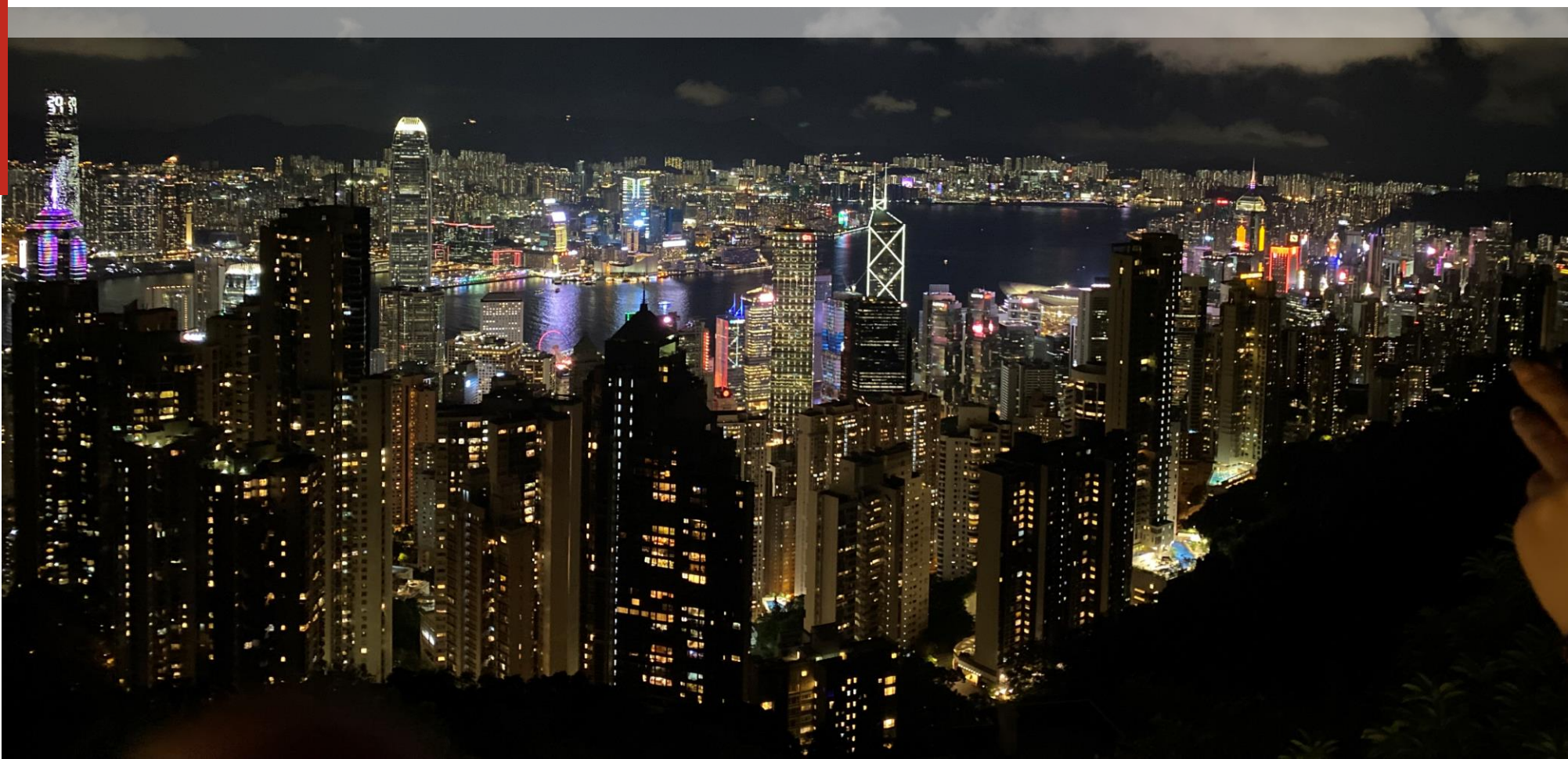


「日本のお菓子における香港輸出の可能性と課題」

とかち製菓株式会社

代表取締役社長

駒野 裕之



企業概要（とがち製菓株式会社）

冷凍技術を活用した品質の高い大福、わらび餅、白玉ぜんざいを、北海道から香港・米国・中国・マレーシア等へ輸出。

製品開発力を武器に北海道から世界へ展開



- 2012年に北海道で創業、主な品目は大福、わらび餅、白玉ぜんざい等の和菓子20品目
- 輸出先国は香港・米国・中国・マレーシア等であり、日系商社を用いた間接輸出を基本としながら、現地法人を有すマレーシアでは直接輸出の経験あり
- 十勝産小豆を使用した冷凍製造の商品は、解凍後にも柔らかさを維持した品質保持に強みを持つ

輸出先① 華御結

平成29年から輸出から開始

- ・ 定番商品「クリーム白玉ぜんざい」「わらび餅黒蜜入り」「抹茶わらび餅」の3品
- ・ 季節品として「りんご」「さつまいも」「抹茶」などをしようしたデザートを展開



輸出先② A1ベカリー

令和3年から輸出から開始

- 定番商品「豆大福」「よもぎ大福」「ごま大福」の3品



輸出先③ Maxim Arome

令和3年から輸出開始

- 「きな粉餅黒蜜入り」「抹茶わらび餅」をArome専用パッケージでPB化して発売



- しかし、容器の破損、品質劣化により 大きな問題を発生させてしまう

輸出先④ Maxim Scakeshk

令和5年から輸出開始

- 「業務用白玉餅」をパンに使用する餅に使用



輸出先⑤ サークルKサンクス 令和5年から輸出開始

- ・「しらたまサンドアンバター」「ふわとろりっち」を冷凍販売用として輸出



CIRCLE K Easy Life Easy Smile

SWEET DELUXE
TREAT YOURSELF BETTER

解凍即品嚐・日本優質甜點

日本直送

SHIRATAMA SAND
しらたまサンド
十勝製菓の
あんぱん

十勝製菓北海道紅豆白玉夾心大福
2粒装

ふわとろりっち
お豆腐とろける
濃厚生チョコトリュフ

十勝製菓 北海道大福

Newest 最新

香港輸出可能性と課題

【可能性】

- 値段が高くても比較的受け入れてくれる
 - しかし、可能な限り高く売りつけるのではなく、“適切”な価格で売するためのスキームを考える必要がある
- 現地を訪れ、店舗の様子や顧客層、現地商品の価格帯等の一次情報を獲得し、次の提案や改善につなげる。
 - 商社さんに頼りきった営業では、本当の声を拾うことが出来ない。自ら行動することが大事。

輸出は特別ではない。国内で実施している事を海外でも粘り強く行う！

香港輸出可能性と課題

【課題】

- コールドチェーンの品質

- 各お客様毎にコールドチェーンを確認する必要がある。

温度等の品質のばらつきやオペレーションの能力に差がある。

- 小さな商圈

- 小売り、商社等狭い地域でののぎを削っているため、輸出が増える
と色々問題が発生する。

政治的リスクヘッジとしては、他国への輸出も検討する必要がある

